

概要版

玉村町都市計画 マスタープラン

ひと・まち・くらしの輪が
交流連携をはぐくむ
定住都市 玉村町



平成24年4月
玉村町

都市計画マスタープランとは

「都市計画マスタープラン」は、都市計画法第18条の2の規定による、「市町村の都市計画に関する基本的な方針」であり、住民の意見を反映しながら、本町の都市計画（まちづくり）に関する基本的な方針を示すことを目的とします。

具体的には、まちづくりの現状や玉村町総合計画などを踏まえ、おおむね10～20年後の「目指すべき都市の将来像」を明確に定めるとともに、土地利用や都市施設等（道路、公園、施設等）の整備方針を示すことで、今後のまちづくりの道筋を示すものです。

都市づくりの目標

将来都市像

ひと・まち・くらしの輪が交流連携をはぐくむ
定住都市 玉村町

都市づくりの目標

- ◆目標1 多彩な機能を活かした交流・連携による活力と魅力があふれる都市づくり
- ◆目標2 愛着をもって誰もが快適に暮らし続けられる安全安心な都市づくり
- ◆目標3 豊かな自然資源や歴史資産と調和した個性ある都市づくり
- ◆目標4 協働によるまちづくり

Tamamuramachi

◆玉村町都市計画絵画コンクール 入賞作品◆

◆町長賞



「電車が通る自然の多い町」
南小 4年1組 布施 彩絢

◆委員長賞



「近代的な建物と自然豊かな生活が融合する町」
南小 6年3組 山田 海渡

将来都市構造

「拠点」

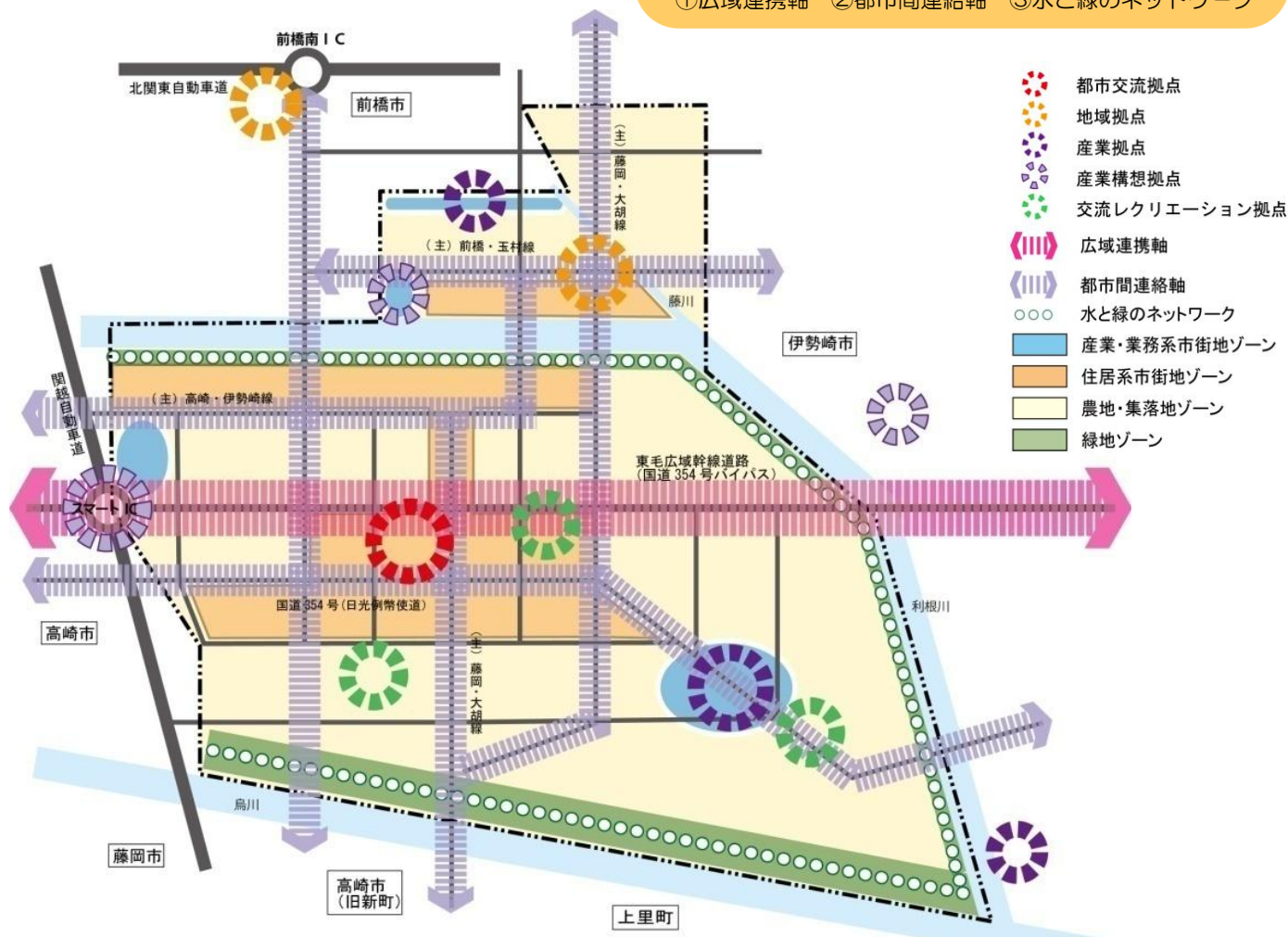
都市活動や産業活動、文化・レクリエーション活動などの中心となり、まちの活力や賑わいを生み出し、多くの人や物が集まり交流・連携を進める地区を都市づくりの「拠点」として位置づけます。

- ①都市交流拠点 ②地域拠点 ③産業拠点
- ④産業構想拠点 ⑤交流レクリエーション拠点

「軸」

周辺都市や町内の地域間を結びつけるとともに産業活動や住民生活を支え、本町の骨格を示す道路網形成や土地利用の誘導に重要な役割を果たす道路を「軸」として位置づけます。また、潤いと安らぎを与えてくれる河川や緑、安全安心で快適に歩ける歩行者・自転車空間についても「ネットワーク（軸）」として位置づけます。

- ①広域連携軸 ②都市間連絡軸 ③水と緑のネットワーク



「ゾーン」

現在の市街地形成や将来の計画的な土地利用の規制・誘導を踏まえ、それぞれの地域の特性や「拠点」「軸」との配置に適応した土地利用形成を「ゾーン」として位置づけます。

- ①産業・業務系市街地ゾーン ②住居系市街地ゾーン
- ③農業・集落地ゾーン ④緑地ゾーン

Tamamura City

◆玉村町都市計画絵画コンクール 入賞作品◆



「どうぶつがいっぱいの玉村町」
上陽小 4年1組 田部井 茉琳



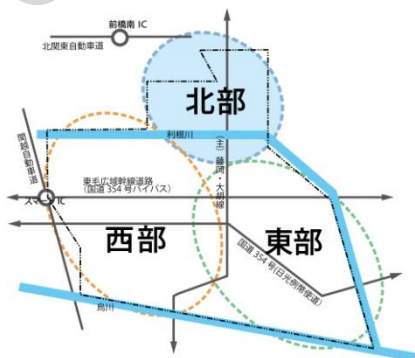
「にぎやかな玉村町」
玉村小 5年1組 須賀 敦也



「ハイテクタマムラ」
南小 5年2組 田中 仁人

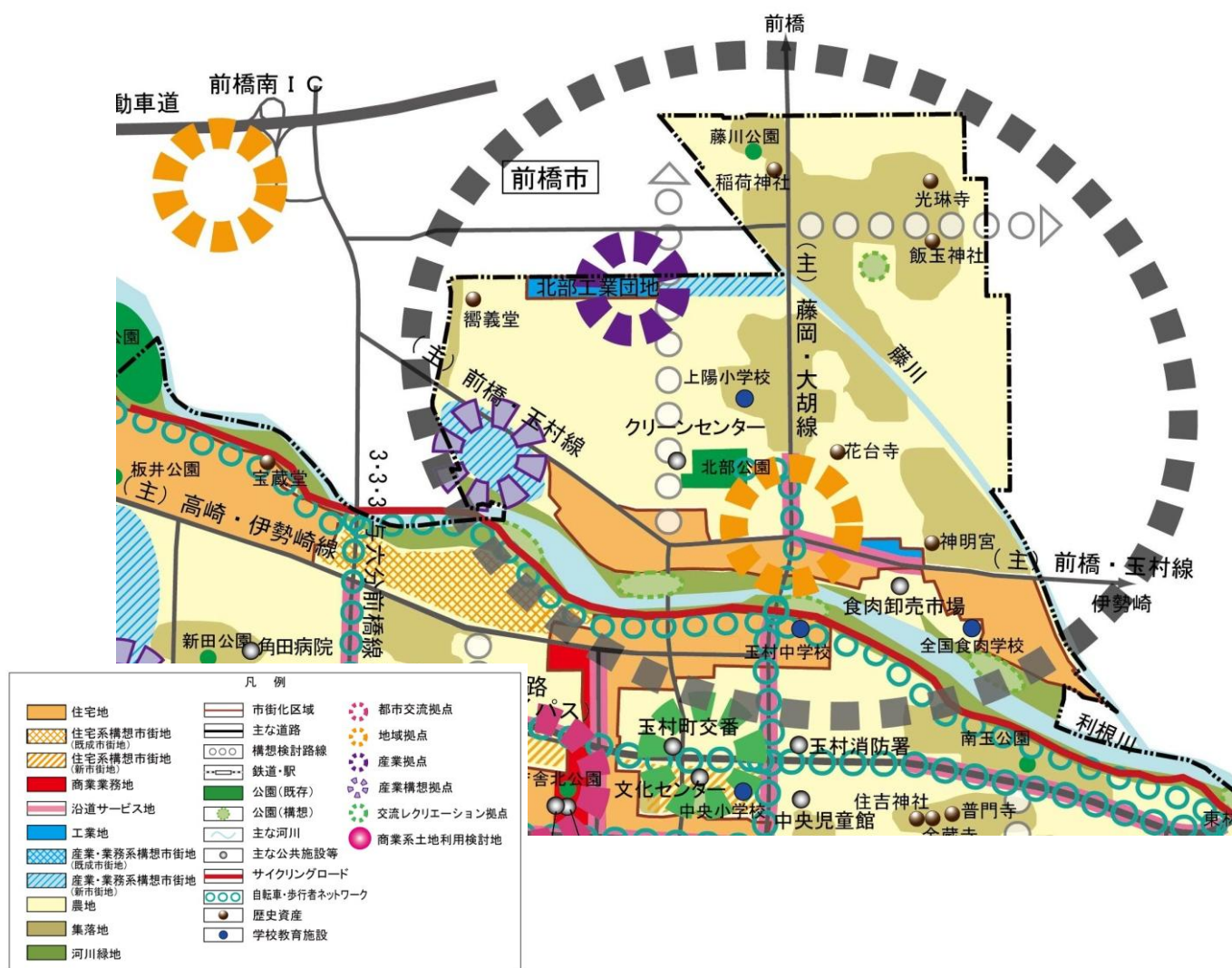
地域別構想

北部地域



産業・居住と自然が共生し、
多彩な交流連携を創出しながら快適に暮らせるまち

- ◆ 多様な交流と日常生活を支える生活環境づくり
- ◆ 地域資源等を活かした地域拠点の創出と活力向上
- ◆ 産業等の維持・拡充による多様な交流の創出
- ◆ 優良な農地などの自然環境の保全と活用



Tamamura City

◆玉村町都市計画絵画コンクール 入賞作品◆



「ecoと自然な町」
中央小 4 年 1 組 小林 侑希



「ドリームインたまむら」
中央小 4 年 2 組 大塚 愛名

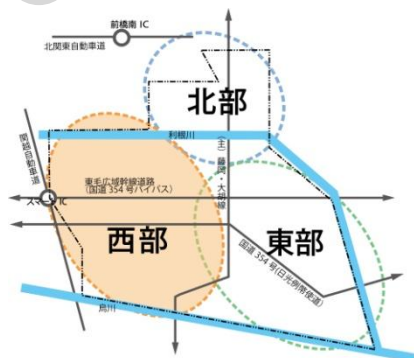


「きれいなまちがいいな」
上陽小 1 年 1 組 小池 麦生



地域別構想

西部地域



元気なたまむらを牽引する人・情報・歴史文化が
交流連携し、活力にあふれるまち

- ◆ 都市機能の集積による賑わいと交流があふれるまちづくり
- ◆ 歴史資産・地域資源の維持・活用による活力あるまちづくり
- ◆ 町内外の交流を促進する交通機能等の充実
- ◆ 多様なニーズに対応した快適な居住環境の創出



凡 例	
	住宅地
	住宅系構想市街地 (既成市街地)
	住宅系構想市街地 (新市街地)
	商業業務地
	沿道サービス地
	工業地
	産業・業務系構想市街地 (既成市街地)
	産業・業務系構想市街地 (新市街地)
	農地
	集落地
	河川緑地
	市街化区域
	主な道路
	構想検討路線
	鉄道・駅
	公園 (既存)
	公園 (構想)
	主な河川
	主な公共施設等
	サイクリングロード
	自転車・歩行者ネットワーク
	歴史資産
	学校教育施設
	都市交流拠点
	地域拠点
	産業拠点
	産業構想拠点
	交流レクリエーション拠点
	商業系土地利用検討地

Tamamuramachi

◆玉村町都市計画絵画コンクール 入賞作品◆



「ヒマワリ通り」
上陽小 4年2組 川田 碧衣



「玉村町の未来」
玉村小 5年1組 長島 礼奈

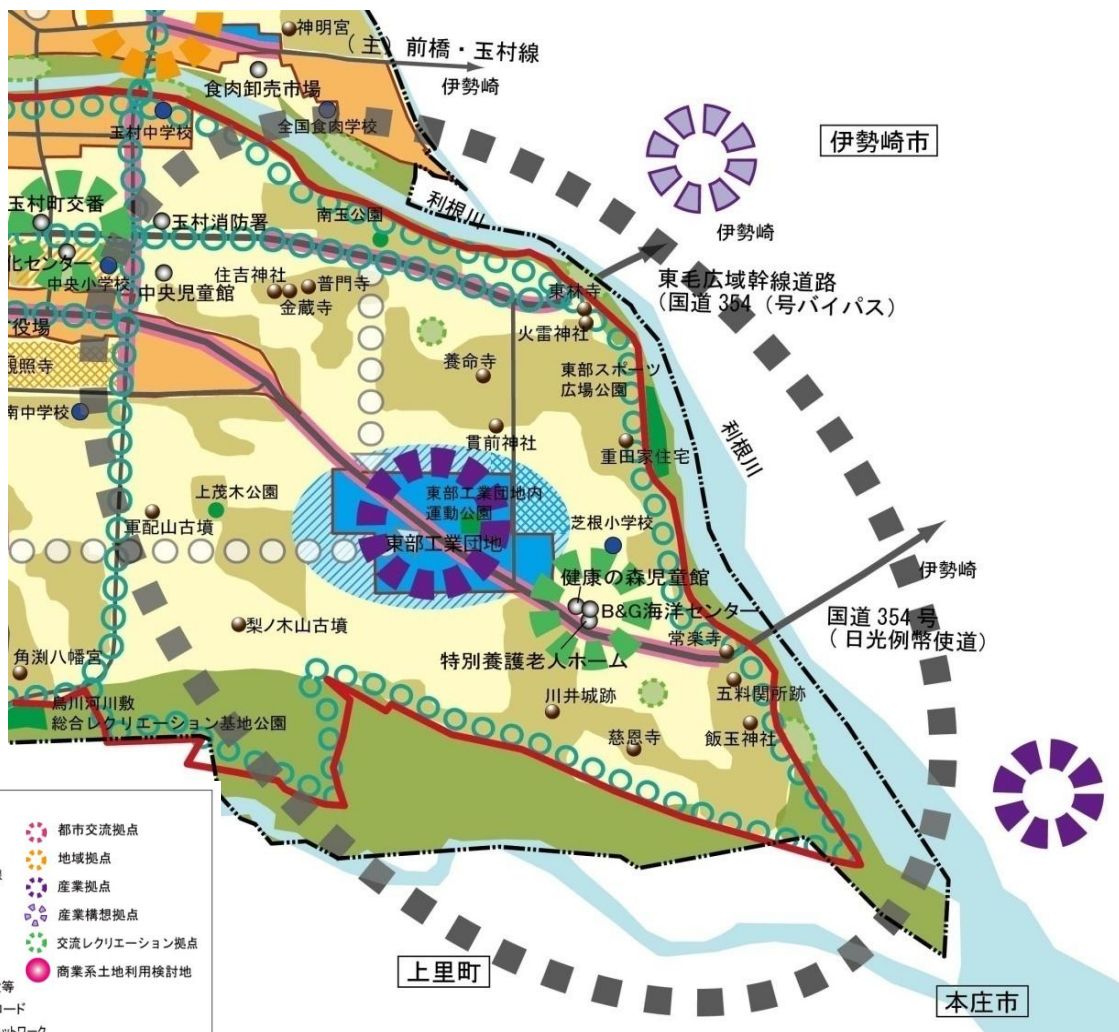
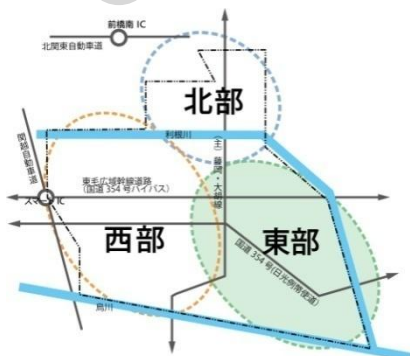


地域別構想

東 部 地 域

豊かな水と緑と産業が調和し、いきいきした暮らしをはぐくむ
交流連携と福祉・健康の充実したまち

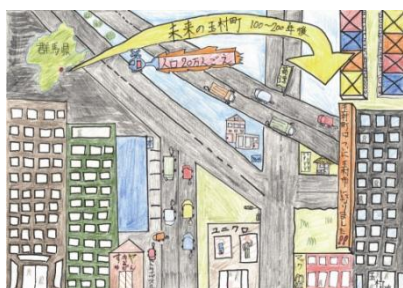
- ◆ 生活環境の維持・改善による生きがいと暮らし続けられるまちづくり
- ◆ 産業基盤の維持・拡充による活力あるまちづくり
- ◆ 地域間の交流連携や都市活動を支える交通網の強化
- ◆ 身近な自然とふれあえる、やすらぎと潤いのあるまちづくり



凡 例			
住宅地	市街化区域	都市交流拠点	
住宅系構想市街地 (既成市街地)	主な道路	地域拠点	
住宅系構想市街地 (新市街地)	構想検討路線	産業拠点	
商業業務地	鉄道・駅	産業構想拠点	
沿道サービス地	公園(既存)	交流レクリエーション拠点	
工業地	公園(構想)	商業系土地利用検討地	
産業・業務系構想市街地 (既成市街地)	主な河川		
産業・業務系構想市街地 (新市街地)	主な公共施設等		
農地	サイクリングロード		
集落地	自転車・歩行者ネットワーク		
河川緑地	歴史資産		
	学校教育施設		

Tamamura City

◆玉村町都市計画絵画コンクール 入賞作品◆



「人口 20 万人ごえ玉村市」
芝根小 6 年 1 組 税田 凜



「ECOな玉村町」
上陽小 4 年 2 組 簾谷 京平



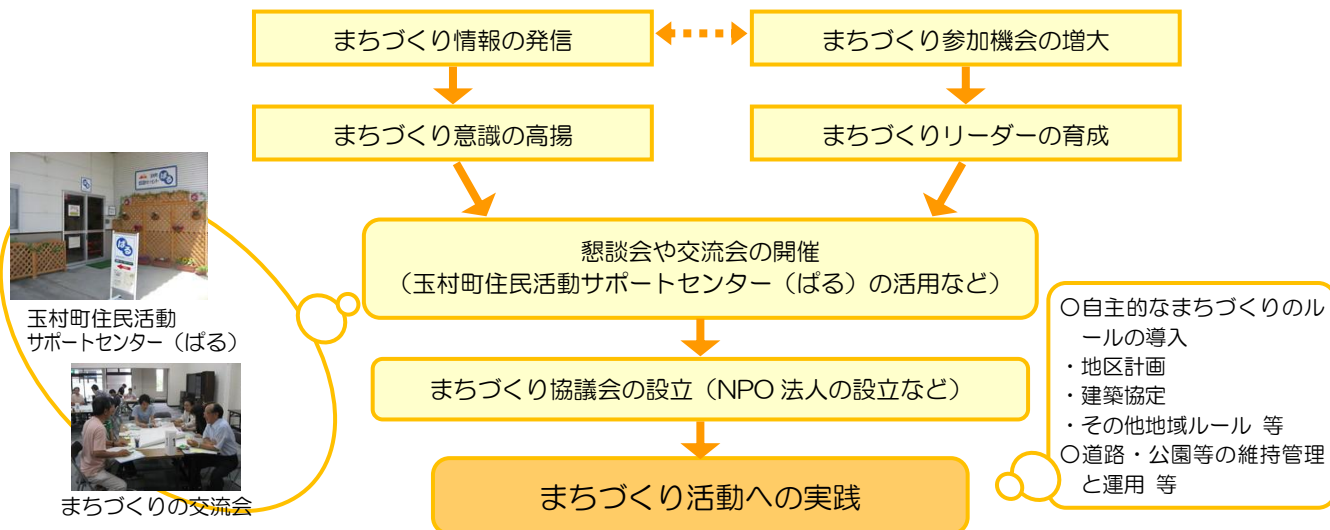
「玉村都市」
芝根小 6 年 2 組 新井 律



まちづくりの実現に向けて

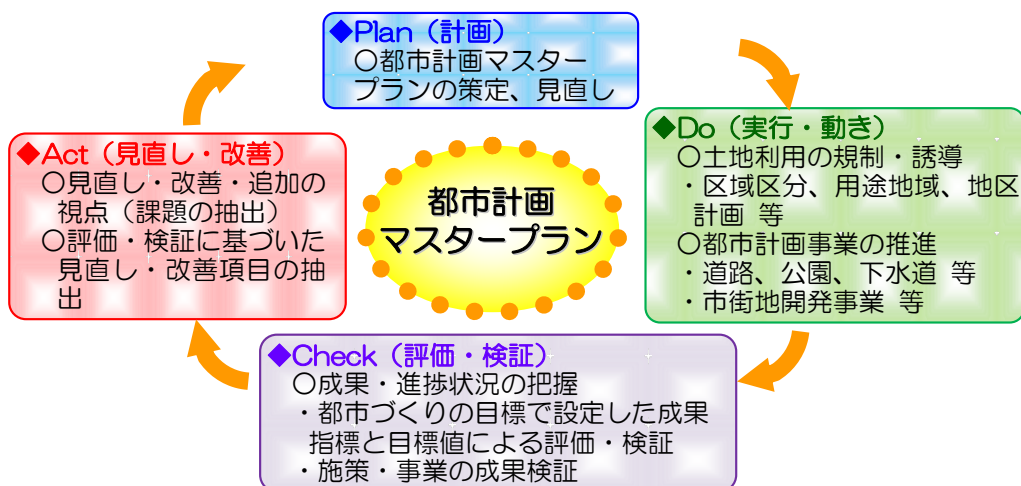
協働によるまちづくりの推進

住民・企業・行政が連携した協働のまちづくりを推進するためには、まちづくりに参加しやすい環境づくりが必要です。このため、住民参加と協働によるまちづくりに関する事項を定めた「玉村町自治基本条例」（平成19年施行）を踏まえて、まちづくりに関する情報の提供、自主的なまちづくり活動への支援や住民参加の推進などの積極的な取り組みを進めます。



都市計画マスタープランの適切な進行管理と見直し

長期的な見通しを持って継続的に取り組むものであるため、その間には、まちづくりの進捗状況や社会経済状況の変化も予想されます。このため、上位計画である総合計画などの見直しとの整合を図りつつ、住民や企業の主体的な参加のもとにまちづくりの進捗状況を明らかにするとともに、必要に応じて計画の見直しを行い、内容の充実を図っていきます。



Tamamura City

◆玉村町都市計画絵画コンクール 入賞作品



「緑とお花と笑顔たくさん玉村町」
中央小 1年2組 斎藤 恵太

「緑たくさん笑顔たくさん玉村町」
中央小 1年1組 斎藤 優太



玉村町

発行／平成24年4月 編集／玉村町都市建設課

